

安全データシート

改訂日:2022年8月29日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

水酸化バリウム八水和物
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CC0038

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分4
皮膚腐食性・刺激性:区分1
眼に対する重篤な損傷性・刺激性:区分1
特定標的臓器毒性:区分2(全身毒性)
(単回ばく露)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
全身臓器の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】
取扱い後は手などをよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉じん／ヒューム／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
【応急措置】
飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の連絡をすること。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が緊急に必要である。
口をすすぐこと。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
【保管】
容器を密閉し、涼しく換気の良いところで保管すること。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

化学物質
水酸化バリウム八水和物
 $\text{Ba}(\text{OH})_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}$
CAS RN: 12230-71-6
水酸化バリウム八水和物97%以上(代表値: 97.9%)
(1)-83
HSコード: 2816.40

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ただちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
ただちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
ただちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

	気分が悪い時は医師に連絡すること。 ただちに医師に連絡すること。
5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法 消火を行う者の保護	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状注水 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策(局所排気、全体換気等) 安全取扱注意事項 接触回避 保管 安全な保管条件 容器包装材料	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 適切な保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。 該当情報なし。 特別に技術的対策は必要としない。 ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策 保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具	未設定 未設定 TLV-TWA 0.5mg/m ³ (Baとして) この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 燃焼性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火温度 分解温度 pH 動粘性率(粘度) 溶解度 n-オクタノール/水分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 蒸発速度	固体 無色または白色 無臭 78℃ 95℃ 該当情報なし。 該当情報なし。 不燃性 該当情報なし。 該当情報なし。 13.11(18g/L) 該当情報なし。 4.91g/100g(25℃,水) 該当情報なし。 該当情報なし。 2.18 (2.18g/cm ³ ,20℃) 該当情報なし。 不燃性
10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	法規制に従った保管および取扱いにおいては安定と考えられる。 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし
11. 有害性情報	

急性毒性	経口：	水和状態が不明であるが、ラットのLD50が308 mg/kgとの報告 (IUCSID (2000))があり、いずれの水和物（一水和物、八水和物、無水）として換算しても区分4の基準値内と考えられるため区分4とした。
	経皮：	該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	吸入：	該当情報なし。(分類できない)
		試験物質の水和状態が不明であるが、ラットとウサギに適用した試験で強い刺激性 (highly irritating) との結果 (IUCSID (2000))があり、かつ、本物質水溶液はpH13.11 (18 g/L) (IUCSID (2000))との情報に基づき、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		試験物質の水和状態が不明であるが、ウサギの角膜に試験物質との接触による顕著な刺激性が認められた (IUCSID (2000))がありこと、かつ、本物質水溶液はpH13.11 (18 g/L) (IUCSID (2000))との情報に基づき、区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：	該当情報なし。(分類できない)
	皮膚：	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)		ラットに試験物質の水和状態が不明であるが経口投与により死亡 (LD50: 308 mg/kg)に至る症状として、筋肉の痙攣に続く弛緩、一部の動物では後肢の麻痺と痙攣に次いで、呼吸促進と呼吸深大・低下を交互に伴う全身脱力を示した (IUCSID (2000))。一方、ラットに水酸化バリウム一水和物を吸入ばく露により、一時的な低運動と逃避行動、前肢で眼と鼻を擦ること、眼と鼻からの血液を含む滲出液、前肢と鼻の化学熱傷、下痢、呼吸困難、回復期には睡眠、前肢、鼻、耳の壊死、後肢の筋協調性欠如による運動失調、自己咬症から死亡 (LD50: 0.675 mg/L/4h)に至った (HSDB 症状の発現はLD50またはLC50から判断して、ガイダンス値範囲は経口では区分2、吸入では区分1に該当するが、判定基準1b3)を満たさない List 2 の情報であること、死因は明らかに試験物質の腐食性に因ると述べられている (HSDB (2009))ことから、区分2(全身毒性)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: (急性)	該当情報なし。(分類できない)
	長期: (慢性)	該当情報なし。(分類できない)
残留性・分解性		該当情報なし。(分類できない)
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		1564
品名(国連輸送名)		バリウム化合物、n.o.s
国連分類		クラス6.1
容器等級		III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。 危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		154
15. 適用法令		
化審法		該当しない。
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		劇物(指定令第2条)[バリウム化合物、ただしバリウム=4-(5-クロロ-4-メチル-2-スルホナトフェニルアゾ)-3-ヒドロキシ-2-ナフトアート・硫酸バリウムを除く] 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[バリウム及びその水溶性化合物] 危険性又は有害性を調査すべき物[バリウム及びその水溶性化合物] 毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表第1)[バリウム化合物] 毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)[バリウム化合物]
労働安全衛生法		
船舶安全法		
航空法		
16. その他の情報		

参考文献

NITE－CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。